

研究者のキャリアステージのイメージ

検討用資料

参考資料2

理想的な研究システム	博士前期課程 (修士)	博士後期課程	若手任期付研究者 (ポスドク・特任助教等) テニュアトラック	中堅・シニア研究者		
	学生	25歳～	任期付 30歳～	40歳～	50歳～ テニュア	
理想的な研究システム	<ul style="list-style-type: none"> 科学的思考法（ファクトとロジックに基づく課題設定と問題解決）等の基礎的素養と専門知識の応用力等を培うコースワークの充実 高度な専門的知識と普遍的なスキル・リテラシー等を身に付けさせるための、ダブルメジャーや学部・研究科等の組織の枠を超えた学位プログラム 博士課程学生が多様な場で活躍するキャリアパス構築に係る組織的支援の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 研究・教育システムの一環として活躍し、それに見合った報酬（R・A等）により、研究・教育能力の向上と手厚い経済的支援を両立 プレFD※の推進と産業界との共同研究やインターンシップ等の機会提供 <small>※学生を対象に教育能力を身に付けるための授業科目開設等の取組</small>	<ul style="list-style-type: none"> 長期（5年以上）の任期付ポスト（ポスドク、特任助教等）を経験し、研究計画立案、研究費獲得等のPIになるために必要な資質を向上 挑戦的、分野融合的な研究に果敢に挑戦し、研究の視野を広げる プロジェクト雇用の場合もエフォートの2割程度は、自発的な研究活動の実施が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 独立した主任研究者（PI）として挑戦的、創造的な研究を牽引 スタートアップに必要な研究室運営資金・人員・環境等を伴うテニュアトラックにより、競争的な環境を経て、公正な業績評価の下でテニュアを獲得 テニュアトラックポスト数に見合う十分なテニュアポスト数が確保 	<ul style="list-style-type: none"> 研究費は主に競争的資金から獲得。ただし、研究室の運営に必要な定常経費は所属組織から支出 優れた研究に対する継続的支援 外部資金の獲得等の業績に応じた給与・待遇 	<ul style="list-style-type: none"> 競争的資金の直接経費から研究以外の業務代行経費の支出を可能とすることにより研究時間を確保、個人の希望によって研究専任/教育専任が可能に
	<ul style="list-style-type: none"> 研究に専念できる環境と就職活動を両立（大学と経済団体による就職活動ルールの設定） 	<ul style="list-style-type: none"> 国内外を問わず流動し、多様な価値観を習得 	<ul style="list-style-type: none"> 技術職員、UR Aへのキャリアパスが示されるとともに、能力に応じた評価体系など組織としての人材育成体制が構築され、研究者・技術職員・UR Aが一体となったチーム型研究体制で研究開発を推進 	<ul style="list-style-type: none"> 学内昇進でなく、移籍とともに昇任するなど流動性が確保される仕組み 		

25歳～	30歳～	40歳～	50歳～
	特別研究員 (特別研究員に対する研究費) 特別研究員奨励費 (DC1) 3年 695件 上限150万円 特別研究員奨励費 (DC2) 2年 1,095件 上限150万円 特別研究員奨励費 (PD) 3年 344件 上限150万円	卓越研究員 (スタートアップに係る研究費) 2年 72件 上限600万円	

戦略的創造研究推進事業 (新技術シーズ創出)	さきがけ 3.5年 126件 約750～1000万円	ERATO 5.5年 2件 約2億円
ACT-X 2.5年～3.5年 令和元年度新設 標準150万円		CREST 5.5年 56件 約2500～8000万円

科学研究費助成事業 (科研費) ・若手研究 2～4年 6,256件 約130万円 ・研究活動スタート支援 ～2年 950件 約110万円	・基盤研究 (S) 5年 80件 約4,100万円 ・基盤研究 (A) 3～5年 605件 約1,210万円 ・基盤研究 (B) 3～5年 2,965件 約510万円 ・基盤研究 (C) 3～5年 12,175件 約120万円	特別推進研究 3～5年 12件 約9,400万円
研究費名 研究期間 平成30年度採択件数 (CREST・新学術はグループ研究) 平均研究費/1件・単年度 ※特別研究員・卓越研究員については、上限金額を記載	・新学術領域研究 (研究領域提案型) 5年 18件 約2億2800万円 ・挑戦的研究 (開拓) 3～6年 82件 約730万円 ・挑戦的研究 (萌芽) 2～3年 1,426件 約230万円	

163,100人 (H30) 出典：学校基本調査	74,367人 (H30) 出典：学校基本調査	ポスドク 15,910人 (H27実績) うち進路状況 ・ポスドクを継続11,118人 ・大学教員1,549人 ・それ以外3,243人 出典：ポスドク等への雇用・進路に関する調査 (2015年度実績)	助教 42,699人 (H30) R U 1 1における教員 (助教・准教授・教授) の任期の有無 (H 2 5) 任期有：56.0% 任期無：44.0%	准教授 44,133人 (H30) 出典：学校基本調査 任期有：18.8% 任期無：81.2%	教授 69,724人 (H30) 任期有：11.7% 任期無：88.3%
卒業者数約71,450人(H30) うち 進学者約6,620人 一般企業等約46,500人 大学教員約500人 民間企業・公約研究機関研究者約2,820人 出典：学校基本調査を基に文部科学省作成	卒業者数約15,660人(H30) うち ポスドク約1,350人 大学教員約2,370人 一般企業等約2,610人 民間企業・公約研究機関研究者約2,350人 医師・薬剤師等約2,710人 出典：学校基本調査を基に文部科学省作成				

「大学教員の雇用状況に関する調査-学術研究懇話会 (RU11) の大学群における教員の任期と雇用財源について-」 (2015年9月)